

会社案内



私たちのはじまりは電線でした。

電線。それは、電気をつなげること。

電気をつなげた先には、人々の暮らしがあります。

街があります。社会があります。

そう、私たちがつないできたのは、社会。

社会をつないでいるからこそ、

私たちは妥協せずに、ベストを求めつづけました。

その姿勢は、時代が変わり、製品が変わっても、

決して変わりません。

クルマの中の部品と部品をつなげる。

つなげることでクルマに命を吹き込む。

クルマの中と外をつなげる。

つなげることで、より良い社会をつくる。

そこへのこだわりこそが、私たちそのものなのです。

私たちは約束します。

もっと安全に、もっと便利に、もっと環境にやさしく。

これからもベストなつながりで、

ベストな社会をつくり上げます。

Connect with the Best



住友電装株式会社
代表取締役 執行役員社長 漆畑憲一

私たち住友電装グループは、
私たちのありたい姿である「Purpose(パーパス)」を軸に、
「2030Vision」(Purposeを具現化するためのめざす姿)、
「Mission」(Visionを具現化するためのなすべきこと)、
「Core Value」(すべての住友電装グループの仲間が大切にしているもの)を経営理念とし、グローバルに
事業活動を展開していきます。



住友電装グループの「存在価値(Purpose)」

ハーネス技術を深化させ、“モビリティ社会のなくてはならないパートナー”であり続ける

ハーネス技術を深化させる

ワイヤーハーネスや電線・コネクタ・エレクトロニクス等のこれまで蓄積してきた技術を元に、ものづくり、人づくりを追求・発展させ、モビリティの変革や、社会/お客様からの期待に向き合い、その期待を越える可能性の実現へ挑戦します。

モビリティ社会全体へ貢献していく

モビリティそのものが多様化し変わろうとしている今、OEM、クルマの利用者、サプライヤー等あらゆるステークホルダーとそれを取り巻くモビリティ社会全体へ私たちのソリューションを提案していきます。

なくてはならないパートナーであり続ける

モビリティの発展をパートナーとして支えることを通して、快適で安全な持続的社会的の実現に貢献し、社会やお客様から頼られ任せられる存在であり続けます。

住友事業精神

萬事入精
(ばんじにっせい)

まず一人の人間として、何事に対しても誠心誠意を尽くす人であれということです。住友では一人ひとりが安易な利益追求に走ることなく、人間を磨き、人格豊かに成熟することが求められています。

信用確実
(しんようかくじつ)

「何よりも信用を重んじる」こと、すなわち「常に相手の信頼に応える」ことを表しています。

不趨浮利
(ふすうぶり)

社会の変化に迅速、的確に対応して利潤を追求すべきであり、既存の事業に安住することなく常に事業の興廃を図るという積極進取の重要性とともに、常に公共の利益との一致を求め、浮利を追い、軽率、粗略に行動することを厳に戒めています。

また、住友には下に示すような脈々と受け継がれている考え方があります。
『技術の重視』、『人材の尊重』、『企画の遠大性』、『自利利他、公私一如』

住友電装グループ基本理念

私たちは「Connect with the Best」の精神で

- ◎社業の繁栄を通じて地球社会に貢献します
- ◎質の高い活動により顧客満足を実現します
- ◎創造と変革により企業の未来を拓きます
- ◎誠実と信頼を基本に高い企業倫理を保持します
- ◎個性を尊重し活力溢れる明るい企業文化を育みます

住友電装グループ企業行動憲章(項目)

1. 優れた製品・サービスの提供
2. オリジナリティのある新事業・新製品の開発
3. グローバルな事業展開とグループ全体の成長・発展
4. 地球環境への配慮
5. 法令の遵守
6. 公正、適正な事業活動
7. 社会の一員としての自覚ある行動
8. 国際社会との協調
9. 働きやすい職場環境の構築と人材の育成
10. 適切な情報開示とコミュニケーションの促進

SWS WAY 住友ハーネス事業の行動原則

- プロフェッショナル:「顧客満足」「誠実実直」「誇り高く」
チームワーク :「コミュニケーション」「当事者意識」「多様性の受容」
チャレンジ :「先見」「失敗を恐れない」「やり抜く」

自動車用ワイヤーハーネスのグローバル企業

1917年に電線製造会社として創業した住友電装は、電線で培った技術を根幹に、時勢の変遷をしっかり捉え、その時々で確固たる事業基盤・領域を築き上げ、自動車用ワイヤーハーネスのリーディングカンパニーとして、世界を舞台に躍動するグローバル企業に成長いたしました。

今、自動車業界は、100年に一度と言われる大きな変革期に直面し、電動化・自動運転・コネクテッド・シェアリングといった新しい領域で技術開発が求められています。私たちは、時代の変化・流れを確実に先読みし、自動車用ワイヤーハーネス事業で築き上げた「つなげる、つながる」技術を基礎に、常にお客様視点に立った新製品・新技術開発を進めてまいります。

30VISION(中期経営計画2025)

住友電装グループは現在「ワイヤーハーネスをコアとするメガサプライヤー」をめざし、住友電工、オートネットワーク技術研究所との三位一体による協業をより強固なものにしています。そして、長期ビジョン「2030VISION」を踏まえての「中期経営計画2025(25M)」の実現に向け、「モノづくり力の強化」「CASE市場をとらえた開発力・提案力の強化と製品化のスピードアップ」「人財・組織力の強化」を重点推進項目として、住友電装グループの総合力を結集し、ビジョン達成に向け邁進してまいります。

SWS WAY

住友ハーネス事業の行動原則である「SWS WAY」は、プロフェッショナルである従業員一人ひとりが、チーム一丸となり、誠実かつ実直にチャレンジを続けてきた住友電装グループの誇るべき企業文化であり、ワイヤーハーネスのグローバルトップ企業となった、強みそのものです。私たちは、この行動原則に常に立ち戻り、グローバルトップ企業で働くことの自信と自負を持って、「世界中のお客様からなくてはならないパートナー」として信頼される企業であり続けます。

| 技術 |

次世代のモビリティ社会に向けて新たな価値を生む、「つなげる、つながる」技術

住友電装は、クルマの中のさまざまな機器をつなぎ、電力や信号をすみずみまで伝えるワイヤーハーネスの製造で、世界トップクラスをはしる会社です。時代のニーズを先取りする研究開発をベースに、カーメーカーをはじめとするお客様の期待に応じて、小型化、軽量化、高速化などを実現した幅広い製品群を展開しています。これからも、住友電装、住友電工、オートネットワーク技術研究所の3社が一体となって技術革新に挑戦し、次世代のモビリティ社会に貢献していきます。



三位一体で挑戦する技術革新

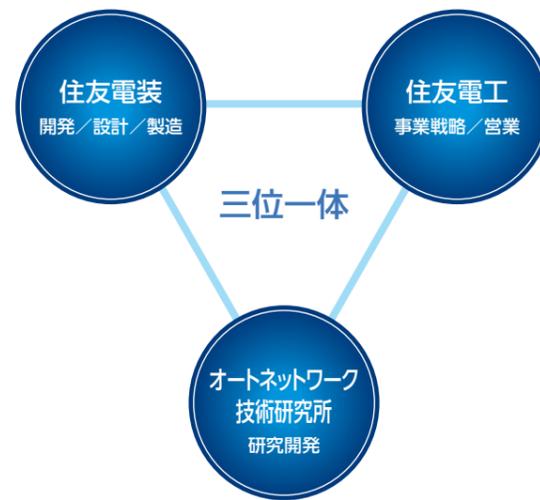
住友電装と住友電工、オートネットワーク技術研究所の3社は、緊密に連携・協業し、力を結集してモビリティの未来に向けた大きな技術革新に挑戦しています。

3社の強みを活かして切り拓く未来

ワイヤーハーネスを中心にグローバルに開発・設計・製造を担う住友電装。素材開発にはじまり情報通信などのインフラ、環境エネルギー事業に強みを持つ住友電工。そして車載ネットワークを中心とする研究開発を専門とするオートネットワーク技術研究所の3社は、一体となって、世界の自動車業界が直面している大きな技術変革の波に挑戦しています。

これまでに培ってきたそれぞれの強みと独自性を活かしつつ、3社が一体となって連携・協業することで、高いシナジーを発揮。次世代のモビリティ社会を支えるコアテクノロジーの開発を推進しています。

住友ハーネス事業の体制



CASEに対応した研究開発

「CASE」(Connected:コネクテッド、Autonomous:自動運転、Shared:シェアリング、Electric:電動化)に代表される、自動車業界が直面する100年に一度の大きな変革期。

住友電装、住友電工、オートネットワーク技術研究所の3社は、情報通信ネットワークなどにつながるコネクテッドカーの普及、自動運転技術の進化、クルマにかかわるライフスタイルの変化、電動化の拡大に対応して、「つなげる、つながる」技術と製品を生み出し、新たなモビリティの時代をリードしていきます。

利便性を高めるConnected:コネクテッド

「CASE」の中でも「コネクテッド」は、住友電装のクルマの中をつなぐ技術と、住友電工のクルマと社会をつなぐ技術、オートネットワーク技術研究所の研究開発力がもっとも発揮できる分野です。

ワイヤーハーネスを中心とする車載ネットワーク関連

技術と交通インフラに関する先進技術をコアに、クルマとクルマ、クルマと社会をつなぎ、高度な運転支援システムをはじめ、クルマ、人、社会がシームレスにつながった利便性の高い社会づくりをめざしています。



安全に寄与するAutonomous:自動運転

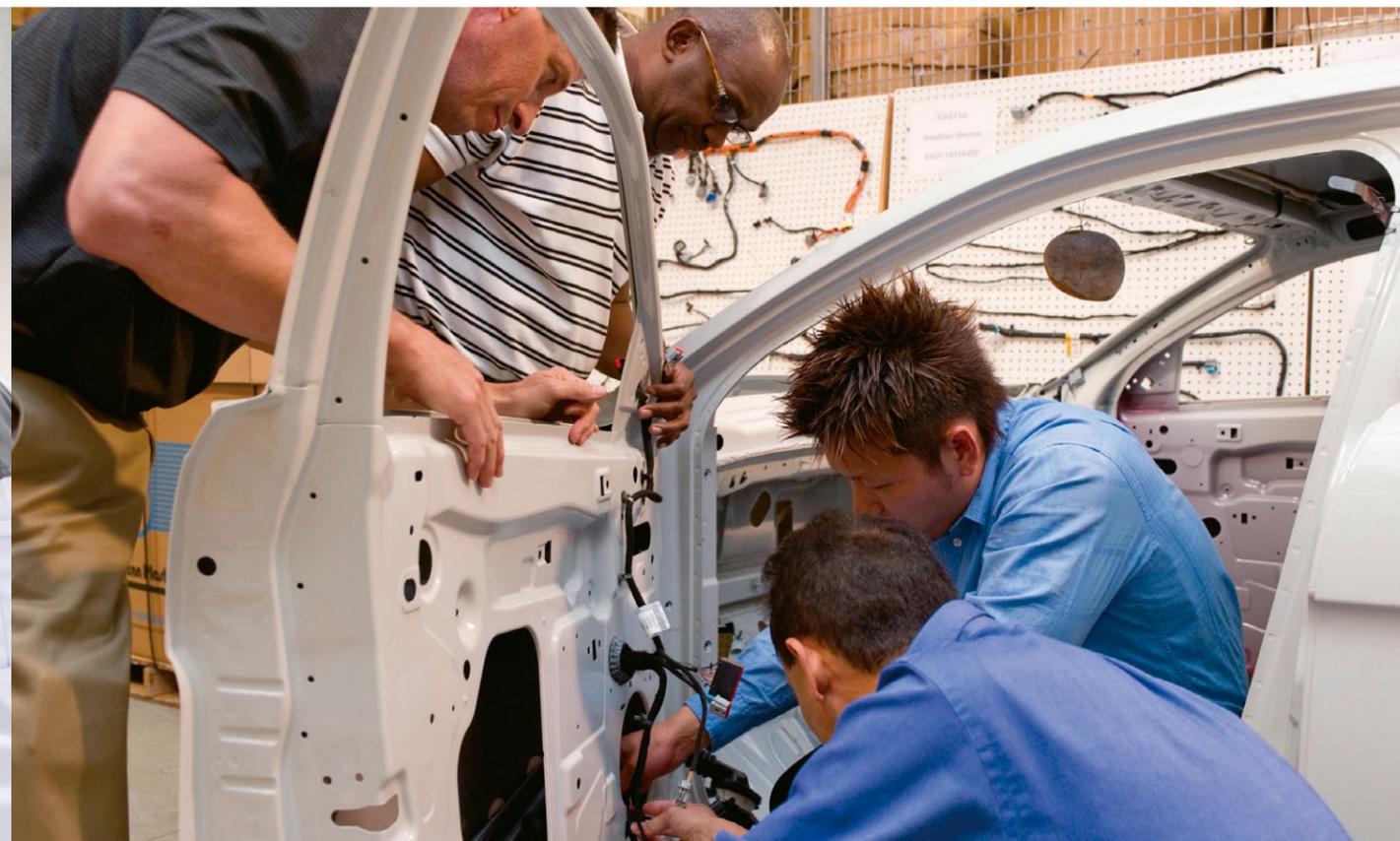
「自動運転」を実現するためには、自律走行を支える車載レーダーやカメラ、AI(人工知能)などが生む大量の情報を高速に処理することが必要です。住友電装では、すでに高速データ通信を支える製品やシステムの開発を推進しています。



環境を保全するElectric:電動化

クルマの「電動化」を支えるためには、電力インフラとの連携、大型電池と大電流を流せるワイヤーハーネスが欠かせません。ハイブリッド車の開発で大電流に対応したハーネス技術を蓄積してきた住友電装にとって、本格的な電動化の時代の到来は、今まで以上にその存在感を高める好機だと言えます。





クルマの未来をつなぐ研究開発

ニーズを先取りした製品開発を着実に進める住友電装グループは、お客様のそばで、求められる製品をスピーディにカタチにしています。

お客様の信頼に応える 研究評価機能

電動車両には電磁ノイズ源となる大電力機器が多く搭載され、クルマの通信に障害を与える恐れがあります。一方、車内外との情報ネットワークの拡大によりノイズに弱い精密な通信機器・電子機器の搭載も増えているため、住友電装は、国内のハーネスメーカーでは初めて、電波暗室付シャシダイナモ実験設備を設置しました。車内外の環境変化が部品やクルマ全体に与える影響を想定した測定・評価を行い、その結果を活かして電源・信号ネットワークや関連製品を開発しています。また厳密な耐久試験、実験データを解析するCAE*などの先進の研究評価設備と体制により、製品の信頼性をより確かなものとしています。

*CAE: Computer Aided Engineering



スピーディな開発を支える世界同一設計

住友電装グループは、世界中のどの拠点で設計を行っても効率的に同じ品質、同じ設計を可能とする環境を整えています。部品情報、製造指示、コストなどを製造システムと共有する「HARBEST*」。設計の初期段階からハーネスの車載検討や製造検討をコンピュータ上でシミュレーションでき、リードタイム短縮を実現しているシステム「VAS*」。図面や帳票などを管理して設計履歴などの情報を共有する「e-MACS*」など、独自のシステムを駆使した設計開発環境から、今日も新たな価値が生まれています。

*HARBEST:
Harness Best Engineering
System

*VAS:
Virtual visual Assembling
System

*e-MACS:
Engineering Database for
Management and
Collaboration System



お客様とともに進める製品開発

住友電装グループのエンジニアは、お客様であるカーメーカーと一緒に、密度の濃い情報交換や技術交流を促進しながら、力を結集して製品開発を進めています。この設計・開発段階における連携・協力体制によって、お客様の思いやニーズを的確に捉えた製品開発を実現しています。

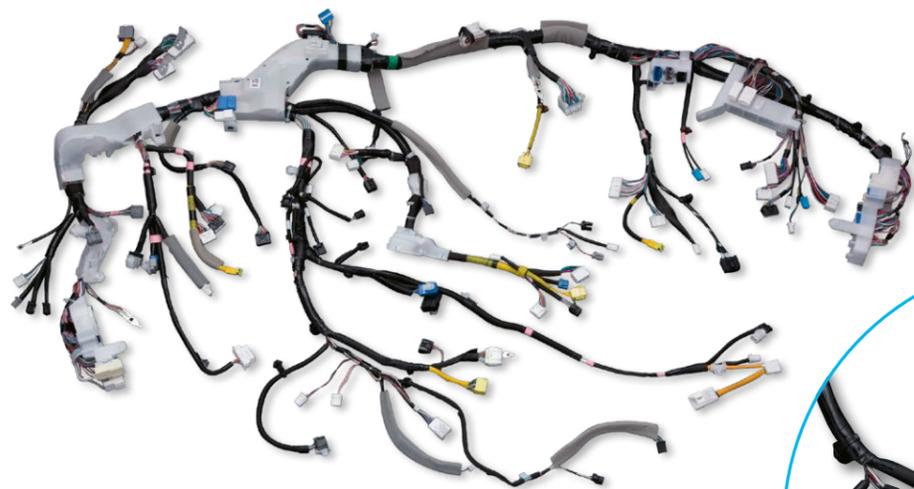
ワイヤーハーネスをコアとした トップクラスの製品展開

グローバルシェアにおいてトップクラスを誇る
住友電装グループの自動車用ワイヤーハーネス。
お客様に信頼していただける品質と性能を実現し、
クルマの安全性と快適性、環境性能に貢献しています。
さらに時代のニーズに応えるトータルサプライヤーとして、
次世代のモビリティ社会に貢献する多様な製品を提案していきます。

自動車用ワイヤーハーネス

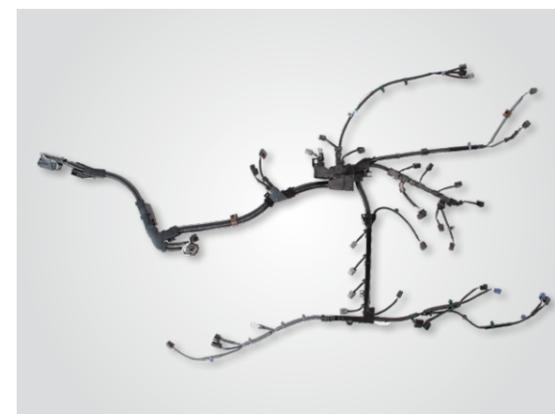
多様な車種に対応したワイヤーハーネス

世界で採用されている住友電装の自動車用ワイヤーハーネス。
クルマの進化に合わせた新たな技術を開発し、お客様の多様なニーズに応えています。



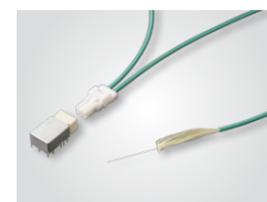
ワイヤーハーネス

クルマには、走る、曲がる、止まる、といった基本的な動きはもちろんのこと、さまざまな機能を担う電子部品が搭載されています。これらの電子部品を制御するためには、電力や信号を車内のすみずみまで伝えるワイヤーハーネスが欠かせません。人の身体に例えると、血管や神経に相当する重要な部品であり、電線を中心に、コネクタや端子、クランプ、シートなどで構成されています。



アルミハーネス

従来、銅電線を用いていたエンジンハーネスに、「高強度アルミ合金電線」を世界で初めて搭載。標準アルミの約2倍の強度と屈曲性を保ちながら、低コスト化を実現しました。



光ハーネス

クルマの周辺状況の把握に関する膨大なデータを、電磁ノイズの影響を受けずに遅滞なく伝送します。

アンテナハーネス

ラジオ、TV、電話やGPSなどの信号を受信するアンテナと受信機を接続し信号を伝えます。



スライドドア用ハーネス

スライドドアが開閉動作中のどの状態にあっても、ドア内の電装品へ電力や信号を伝えることができ、ドアの開閉の自動化を実現します。



EPB*ハーネス一体型車輪速センサー

世界で初めて車輪速センサーとEPB用ハーネスの一体化に成功し、軽量化と低コスト化を実現しました。



*EPB: Electric Parking Brake

自動車用電線

コネクテッドに対応し、 「より細く、より軽く、より高速に」を実現

ワイヤーハーネス用電線は、小型・軽量化や高速・大容量通信に対応して進化してきました。業界トップクラスのラインナップを誇っています。



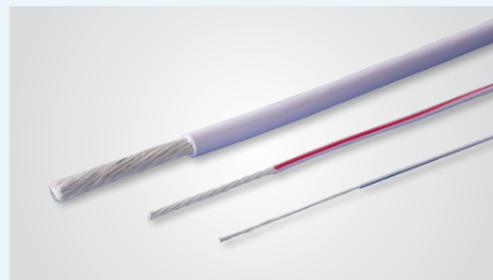
細径電線

圧縮導体を使用した、低圧回路配線用の電線です。



シールド電線

制御回路やセンサー用の電線。外部からのノイズを遮蔽します。



アルミ電線

ワイヤーハーネスを大幅に軽量化し、燃費向上に貢献します。



高電圧用電線

ハイブリッド車用の高電圧回路に使用する電線で、耐熱性にも優れています。

エレクトロニクス製品

自動車内の機器に司令を送る 電子部品

クルマを電子的に制御するさまざまな電子部品を開発。機能統合により部品を一体化するなど、小型化、軽量化を進めています。



セントラルゲートウェイ
さまざまな車載コンピュータ（ECU）をつなぎ、多重通信を中継する役割を担っています。



ボデーECU

ドアロック、スマートエントリー、ヘッドランプなどの機能を制御する電子ユニットです。



JB(ジャンクションブロック)

電気回路の集中接続機能を持ち、エレクトロニクス制御をトータルにサポートします。



RB(リレーボックス)

電気回路を開閉するリレーやヒューズの機能を半導体で実現した小型リレーデバイスです。



光ビーコン

クルマと道路側の装置を近赤外線をつなぎ、渋滞情報や信号情報などをやり取りします。

ハーネス用部品

ハーネスを守る高い信頼性、 小型化に貢献する多様な機能

電線を接続する役割を担うハーネス用部品は、高温、振動、防水、ノイズなどの厳しい車載環境に対応するため、多様なバリエーションを揃えています。



高周波コネクタ

アンテナと車載マルチメディアユニットを接続する同軸線用コネクタです。



ECU用コネクタ

プリント基板に取り付け、電線と電子制御ユニットを接続します。



防水コネクタ

防水性が求められる電線の接続用として開発され、クルマのエンジンルームなどでの使用に、その機能を十分発揮しています。



外装品

ワイヤーハーネスを固定したり、保護したりするために使用します。

ハイブリッド車・電気自動車用製品

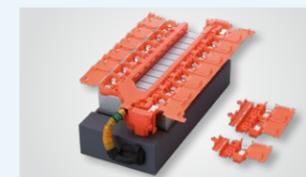
電動化に対応した製品開発を 通じて環境保全に貢献

クルマの電動化に欠かせない大電流に対応したワイヤーハーネスや接続部品、周辺機器などさまざまな製品を開発。省スペース化、軽量化、高機能化を実現しています。



普通充電コネクタ、インレット

自宅や充電スポットで充電する際に、クルマと電源を接続するコネクタです。



電圧検知モジュール

電動車の高圧バッテリーの電圧を検知するための端子やハーネスを搭載する部品です。

床下パイプハーネス

高電圧ハーネスにアルミニウムパイプを使用することで、大電流、電磁ノイズに対応するとともに、省スペース化、軽量化、低コスト化などを実現しました。



高圧JB

回路保護装置を搭載し、電池パック内の電気回路を安全に集中して接続する部品です。

各種ワイヤーハーネス

ジャンルを超えて「つなぐ」、 住友電装の製品

住友電装グループでは、自動車向け製品の他に、二輪車、機器、農業機械用のワイヤーハーネスなどを手掛けています。

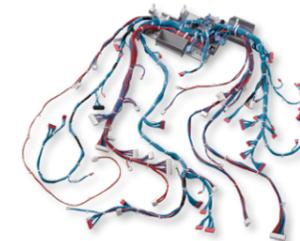
二輪車用ハーネス

高い防水性やエンジンの振動への耐久性などの厳しい条件をクリアしたハーネスです。



機器用ハーネス

複写機やプリンターなど、さまざまな機器に使われるハーネスを開発・製造しています。



農業機械用ハーネス

防水対策や外部からの保護対策に加え、製品によっては防鼠対策を施したハーネスです。





PRODUCTION CONTROL
 TARGET 000
 MỤC TIÊU 000
 ACTUAL 000
 THỰC TẾ 000
 BALANCE 000
 CHÊNH LỆCH 000
 WORKING TIME 000
 THỜI GIAN 000

世界展開
 30以上の
 国と地域

グループ会社

100社以上

従業員数

20万人以上

※2024年3月31日現在

グローバル

拡大、進化する
 グローバルな
 モノづくり、人づくり

世界にひろがる住友電装のグローバルなモノづくり。
 日本を含む30以上の国と地域に
 開発・製造・営業拠点を展開し、
 アジア、欧米、アフリカなどの
 世界各国に100以上のグループ会社を設置。
 20万人以上の従業員が
 「世界同一最高品質」をめざして、
 ワイヤーハーネスを中心とした製品を
 お客様にお届けしています。

グローバル



「世界同一最高品質」をめざしたモノづくり

住友電装グループは、全世界のすべての拠点で、最高品質の製品をお届けするためのさまざまな取り組みを行っています。

全世界の合言葉 「ピカピカ運動」の実践

ピカピカ運動とは、心・行動・技能・設備・工場の“ピカピカ”が“ピカピカ”な製品を生み出すという、モノづくりの基本理念をベースとした取り組みです。

当初は工場内の5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を呼びかけた運動でしたが、今では、世界同一最高品質の合言葉として世界中で使われています。

グローバルすべての製造拠点で、日本から派遣された評価員と拠点のスタッフが一緒になって各製造ラインを確認・評価する「PK評価」によってその成果を測定し、弱点分野を明確にするとともに、改善を加速しています。



全従業員で守る、 ワイヤーハーネスの高い品質

ワイヤーハーネスは、数十から数百点もの電線や部品で構成されており、多品種であるため、人の手でつくり上げています。世界のどの拠点でも、すべての従業員は、世界同一最高品質を実現するために必要な同じ教育・訓練を受けており、グローバル標準を遵守したモノづくりを行っています。



製造ラインの自動化で さらに高める製品品質

ワイヤーハーネスを構成する電線やコネクタなどの部品は、世界のどの拠点でも高度に自動化されたラインで生産することで世界同一最高品質を実現しています。ワイヤーハーネスの製造工程でも、IoT、ロボット、AIなどを導入することで、生産技術の高度化を進め、品質向上と生産の高効率化に挑戦しています。



「世界同一最高品質」を支える人づくり

世界同一最高品質を実現するために、20万人以上の従業員が、一丸となってより良いモノづくりに取り組んでいます。

世界一をめざしてスキルを高め合う、部門別技能競技大会

1986年の技能コンクールを原点として、年に一度、世界各国から選ばれたオペレーターの代表者が日本に集結し、部門ごとに世界最高レベルの実力者としてスキルを競い合います。ここで得た刺激はモチベーションへと変わり、住友電装グループ全体の企業力アップへとつながっていきます。世界同一最高品質はここから生まれます。



グローバルに技能・技術レベルの向上と統一を可能にするG-STARS*

G-STARSとは、すべてのオペレーターに求められる基本スキルと、作業工程別に必要な専門スキルを規格化した世界共通の訓練・評価システムです。各工場のトレーニングルームで定期的に一人ひとりのスキルを評価・測定しています。

*G-STARS: Global Skill Training And Recognition System



世界各地の拠点を担う人材を育てるマザー工場

日本国内のマザー工場では、新たな拠点の立ち上げや海外工場における品質改善を支える人材を育成しています。また、先進技術を身につけた従業員が世界各地の工場を訪問し、技能・技術指導を行うなど、緊密に連携することでグローバルなモノづくりを支えています。





住友電装株式会社 設立100周年記念コンサート



社内託児所の設置(日本)



緑化活動(ベトナム)



女子ラグビーチームへの支援(日本)



小学校への教育物資支援(モルドバ)

信頼

100年を超える信頼に応え、グローバルに貢献する企業をめざして

住友電装グループは、お客様をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様、地域社会、世界からの信頼にお応えするために、持続可能な社会の構築に貢献しています。また、すべての従業員がCSRの視点と意識を持ち、地球環境保全、社会貢献、D&Iの推進など、さまざまな活動に取り組んでいます。



100周年記念コンサート(日本)



孤児院への慰問・寄付(フィリピン)



子ども会社見学会(日本)



教育施設への支援(ブルガリア)



蘇州古城保護活動(中国)

苏州住电装护城公益行

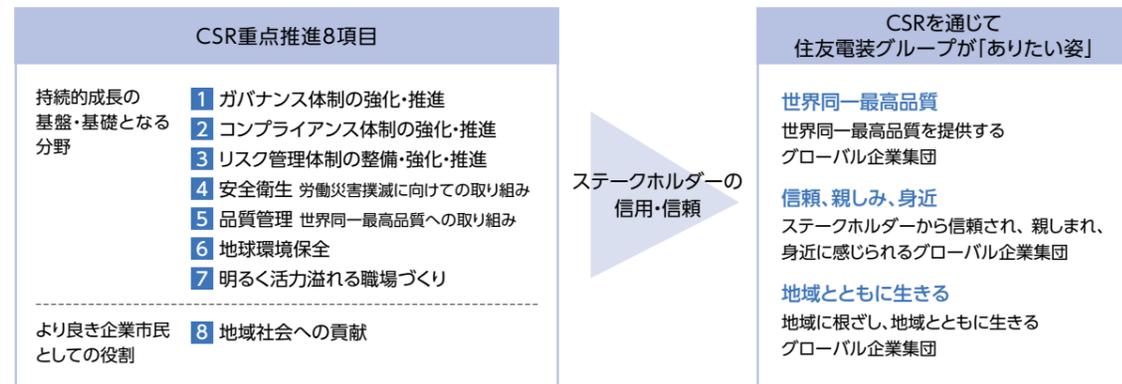


持続可能な社会の構築のために

「住友事業精神」と「住友電装グループ基本理念」に則り、グローバルに事業を展開する企業としての責任と使命を感じながら、グループ一体となってCSR活動に取り組んでいます。

住友電装グループのCSR

住友電装グループは、CSRの重点推進項目を掲げ、「持続的成長の基盤・基礎となる分野」「より良き企業市民としての役割」における8項目に取り組むことで、「ありたい姿」を実現していきます。また、2015年に国連で採択された17のゴール、169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成にも積極的に貢献していきます。



地域社会、国際社会への貢献

住友電装グループは、従業員の仕事(ワーク)と余暇(ライフ)に加え、社会(ソーシャル)という視点で地域社会に貢献することをめざしています。

個人も会社も、身近なところから社会貢献できることを見つけ、活動への積極的な参画を重ねることで、地域社会、国際社会からの信頼に応えていきます。



【ポーランド】環境教育キャンペーンへの参加



【インドネシア】地域住民への食料などの寄付



【タイ】福祉施設への支援



【カンボジア】従業員育成のための社内学校を設立



【メキシコ】震災後の支援活動への参加



【オーストラリア】健康と安全の啓発活動

地球環境保全を推進

住友電装グループのグローバルな事業活動が地球環境に及ぼす負荷の大きさを認識し、環境と調和した持続可能な社会の構築に向けた取り組みを推進しています。特に、物流や製造工程におけるCO₂の削減などの地球温暖化防止、ゼロエミッションの推進、環境配慮型製品の拡大を重要なターゲットとし、グループの持続的成長と地球環境の保全をともに実現するための取り組みを加速させています。



環境配慮型製品
「認定第4号
プレスフィット用PCBコネクタ」

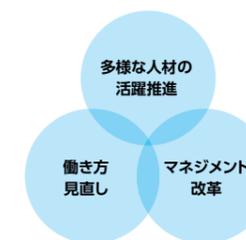


環境配慮型製品
「認定第52号
耐熱高強度アルミ電線」

ダイバーシティ&インクルージョン「D&I」を推進

住友電装グループは、「ダイバーシティ&インクルージョン【D&I】宣言」に基づいて、「マネジメント改革」「働き方見直し」「多様な人材の活躍推進」に取り組んでいます。多様な価値観や考え方をを持った従業員一人ひとりが、能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを通して、個人も組織も成果を出せる、「世界で一番働きがいのある、活力ある会社」をめざしていきます。

【推進の3つの柱】



【D&I推進ロゴ】



100年を超える信頼に支えられ、 発展する住友電装グループ

日本の近代化とともに急速に電気が普及した時代において、
1917年に当社の前身となる東海電線製造所を創立。
その後、住友電工との連携を深め、二輪車用、四輪自動車用ハーネスの生産に参入し、
今ではワイヤーハーネスのグローバルサプライヤーとして世界トップクラスの実績を誇っています。

事業の展開



1917 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2025

会社の沿革

<p>1917</p> <ul style="list-style-type: none"> 「東海電線製造所」創立(2月) 「東海電線株式会社」設立(12月) 	<p>1961</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車用・機器用ワイヤーハーネスの生産開始 	<p>1978</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラジルに現地法人(現SDB)設立 海外進出第1号 	<p>1985</p> <ul style="list-style-type: none"> 「住友電装株式会社」に商号変更 	<p>1995</p> <ul style="list-style-type: none"> ハーネス総合技術研究所(現オートネットワーク技術研究所)を設立 	<p>2001</p> <ul style="list-style-type: none"> Cabind Automotive社(イタリア:現SEWS-CI)よりハーネス事業取得 	<p>2006</p> <ul style="list-style-type: none"> 本社にテクニカルセンター完成 Volkswagen Bordnetze社(ドイツ:現SEBN)買収 	<p>2013</p> <ul style="list-style-type: none"> 本社移転
<p>1931</p> <ul style="list-style-type: none"> 住友電線製造所(現住友電工)と技術・資本提携 	<p>1967</p> <ul style="list-style-type: none"> 泉電線と合併 	<p>1979</p> <ul style="list-style-type: none"> 鈴鹿製作所にワイヤーハーネス用部品工場完成 	<p>1986</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋証券取引所第二部上場 	<p>1999</p> <ul style="list-style-type: none"> 鈴鹿製作所に鈴鹿テクニカルセンター完成 LUCAS SEI Wiring Systems社(英国:現SEWS-E)買収 	<p>2002</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造改革(ハーネス国内生産体制再構築・自動車事業特化)開始 カルソニックカンセイよりハーネス事業を取得 協立ハイパーツの全株式を取得 	<p>2007</p> <ul style="list-style-type: none"> 住友電工の完全子会社化 名古屋証券取引所上場廃止 	<p>2017</p> <ul style="list-style-type: none"> 設立100周年
<p>1957</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車用ゴム絶縁低圧電線生産開始 				<p>2004</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力線事業(創業時以来の事業)から撤退 京信工業(韓国:現KSC)の株式取得 	<p>2023</p> <ul style="list-style-type: none"> 30VISION(中期経営計画2025)がスタート 		
<p>1959</p> <ul style="list-style-type: none"> 二輪車用ワイヤーハーネス生産開始 ワイヤーハーネス専用工場完成 							

NEXT STAGE



これからの100年を 見据えて

大きな変化と新たな進化が
グローバルな規模ではじまった私たちの世界。
モビリティ社会においても、
これまでの常識を超えたコンセプトのクルマや、
これまでにない豊かな価値を創造する
移動のあり方が求められています。

だからこそ私たち住友電装グループは、
世界の人々の思いや夢を、真新しいアイデアと技術で
つなぎたいと考えます。

それが、
Connect with the Best

めざすのは、
もっと安全に、もっと便利に、もっと環境にやさしく。

これからもベストなつながりに確かなカタチを与え、
人と社会と自然にとって、
ベストな答えを追求していきます。

私たち住友電装グループは、次の100年も、
誇りあるグローバルメガサプライヤーの
道を歩みます。

企業概要

商号	住友電装株式会社 (Sumitomo Wiring Systems, Ltd.)
事業内容	自動車用・機器用ワイヤーハーネスの製造販売 ワイヤーハーネス用・電気機器用部品の製造販売 自動車用電線の製造販売
設立	1917(大正6)年12月22日